

宮城県感染症発生動向調査情報

令和03年06月17日発行

2021.6.7 ~ 2021.6.13 - 第23週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							宮城県(含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第20週	第21週	第22週	第23週
水痘	1 0.25		1 0.20			1 0.20		8 0.30	11 0.19	234				
流行性耳下腺炎								3 0.11	3 0.05	66				
感染性胃腸炎	15 3.75	16 1.60	2 0.40	4 2.00	5 1.67	17 3.40		95 3.52	154 2.66	2,967	◎	◎	◎	◎
手足口病	2 0.50						1 0.50	1 0.04	4 0.07	36				
伝染性紅斑								1 0.04	1 0.02	23				
突発性発しん	5 1.25	5 0.50	9 1.80		1 0.33	5 1.00		24 0.89	49 0.84	645	○	○	○	○
ヘルパンギーナ								1 0.04	1 0.02	5				
インフルエンザ									0 0.00	10				
咽頭結膜熱	7 1.75	2 0.20	8 1.60		1 0.33			6 0.22	24 0.41	307		○		レ
流行性角結膜炎									0 0.00	27				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 1.00	18 1.80			1 0.33	2 0.40		9 0.33	34 0.59	568		○		○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎		1 1.00							2 0.17	25				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	9 2.25	23 2.30	7 1.40	12 6.00		1 0.20	1 0.50	92 3.41	145 2.50	771	○	◎	◎	◎
感染症胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	1				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1											
	川崎病										◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	不明発疹症							7						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 男性1名
登米管内 男性1名
石巻管内 男性1名
仙台管内 女性1名
結核(無症状病原体保有者)
大崎管内 女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症

仙台管内 女性1名(O型不明)

4類感染症: レジオネラ症

石巻管内 男性1名

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症

仙台管内 男性1名(Enterobacter aerogenes)
仙台管内 女性1名(Enterobacter cloacae)
侵襲性肺炎球菌感染症
石巻管内 女性1名
仙台管内 男性1名
梅毒
大崎管内 男性1名(第18週), 女性1名
仙台管内 男性2名

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症

仙南管内 男性2名, 女性1名
塩釜管内 男性2名, 女性7名
大崎管内 女性1名
石巻管内 男性1名
仙台管内 男性1名, 女性1名(第13週)
男性32名, 女性20名(第14週)
性別非公表1名(第17週)
男性1名, 女性1名(第22週)
男性19名, 女性4名(第23週)

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

警報・注意報の発令はありません。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より

塩釜管内 第23週採取分 SARS-CoV-2 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定		
	第20週採取分	中間報告	報告
	第21週採取分	第22週採取分	第23週採取分
RSウイルス	3件 (5.17~5.23)	3件 (5.24~5.30)	3件 (5.31~6.6)
ライウイルス	0件	0件	1件

4. 今週のコメント

【新型コロナウイルス感染症】

県内の陽性公表者数は、6月16日に4名となり、同日現在の累計で9049名となりました。最近の動向を1週間あたりの推移で見ると、第20週159名、第21週120名、第22週123名、第23週59名と減少しています。しかしながら、変異株N501Yが主流になっていることから注意が必要です。県民の皆様におかれましては、引き続き基本的な感染防止対策に心がけてください。

【RSウイルス感染症】

上下気道炎を引き起こす代表的なウイルスであるRSウイルスによる呼吸器感染症で、主に小児にみられます。県内では第15週から報告が増加しており、今週145名で第21週の124名より増加しています。特に栗原及び仙台管内での増加が見られます。また、仙台医療センターウイルスセンターでもRSウイルスの分離報告が継続しています。感染者のせきやウイルスの付いた手やおもちゃなどを触ったり、なめたりすることで感染するとされていることから、小児のいる家庭などは注意が必要です。今後の動向について注視してください。

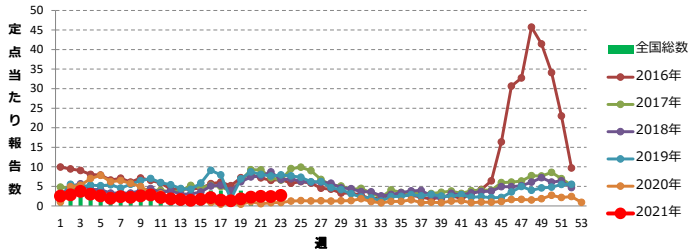
宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

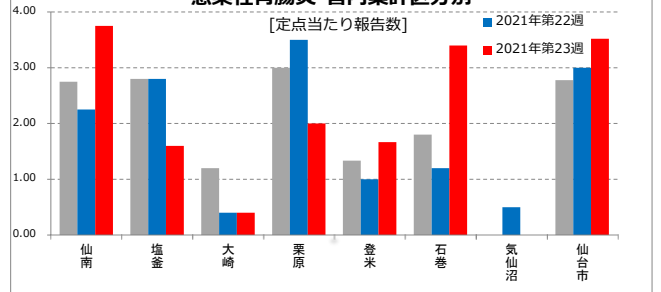
HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

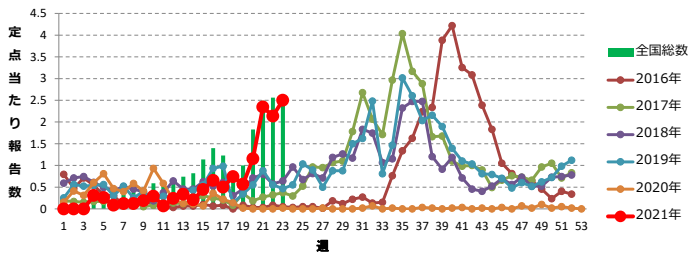
感染性胃腸炎



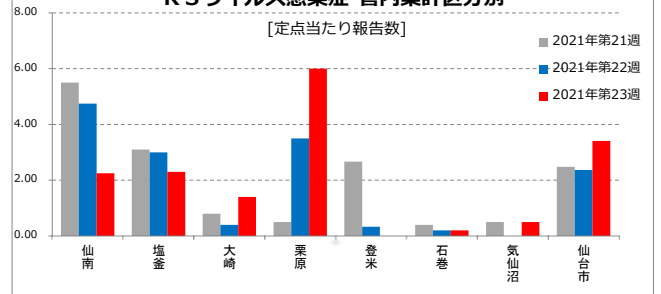
感染性胃腸炎-管内集計区分別



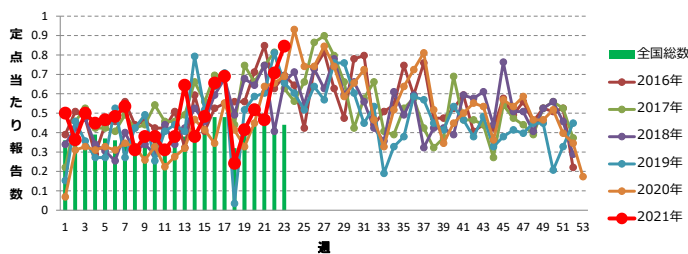
RSウイルス感染症



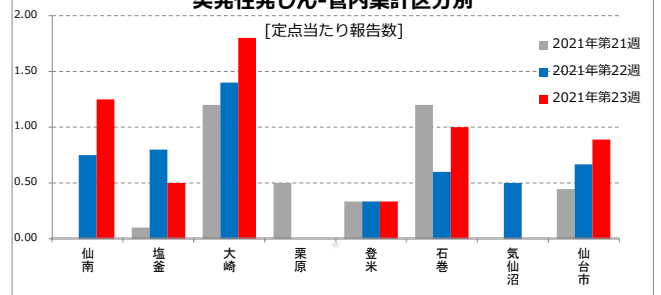
RSウイルス感染症-管内集計区分別



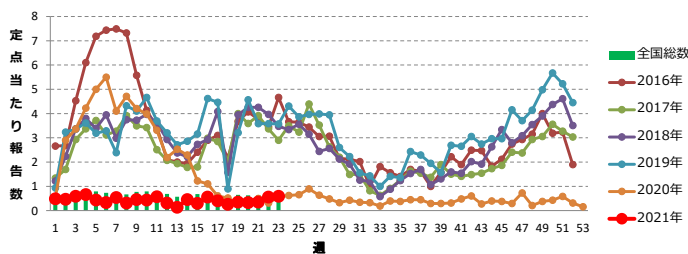
突発性発しん



突発性発しん-管内集計区分別



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎-管内集計区分別

